

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月2日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アイ・アールジャパン

コード番号 6051 URL <http://www.irjapan.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 寺下 史郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートプランニングユニット長 (氏名) 藤原 豊

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3796-1120

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,887	18.7	543	24.8	541	23.6	287	39.3
24年3月期第2四半期	1,589	—	435	—	438	—	206	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	170.20	—
24年3月期第2四半期	122.19	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,134	1,485	69.6
24年3月期	1,806	1,274	70.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,485百万円 24年3月期 1,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
25年3月期	—	22.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

業績予想につきましては、平成24年4月2日に開始した証券代行事業の売上高が、受託先企業の株主数に伴い大きく振幅するため、現時点では合理的な見通しを立てることが困難と考えております。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,687,100 株	24年3月期	1,687,100 株
25年3月期2Q	71 株	24年3月期	71 株
25年3月期2Q	1,687,029 株	24年3月期2Q	1,687,072 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年11月5日(月)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

①業績の状況

当期累計の業績は、前期に比べて増収増益となりました。

	当期累計(24年4月-9月)			前期累計(23年4月-9月)	
	金額(百万円)	増減(百万円)	前期比%	金額(百万円)	前期比% (参考)
売上高	1,887	297	18.7	1,589	1.8
営業利益	543	108	24.8	435	▲ 9.5
経常利益	541	103	23.6	438	▲ 11.9
四半期純利益	287	80	39.3	206	▲ 19.9

※当社は平成23年3月に上場したため、前々期は金融商品取引法に基づく四半期財務諸表を作成しておりませんので、数値は参考情報です。

証券代行業業の開始によって、当社のIR・SRサービス全般のラインナップが強化され、結果、顧客数が順調に増加し、主力のIR・SRコンサルティング及びディスクロージャーコンサルティングの売上高が大幅に増加しました。

当社の顧客である上場企業のSR(株主対応業務)へのニーズは、高度化かつ多様化しながら大きく増加しております。当社は増加するニーズに応えるべく積極的なコンサルタントの増強等、売上機会ロスの低減に向けた体制強化を進めております。特に重視しているコンサルタントの増強については、積極的な採用に加え、採用したコンサルタントの早期戦力化を目的とした教育研修制度の充実をすすめてまいりました。その一連の採用・育成の取組みが成果になってきたものと考えております。

また、証券代行業業については、40年ぶりの新規参入会社として第3四半期での受託開始に向けて万全な準備を進めております。参入後1年未満で受託開始を公に出来ることから、当社の参入の意義とともに当社の競争力について、自信を深めております。

売上高が前年同期を上回って好調に推移した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を上回る業績となりました。

②売上のサービス別の状況

当社の事業領域は「IR・SR活動に専門特化したコンサルティング業」であり、単一セグメントであります。サービス別に売上高の概要を示すと次のとおりであります。

サービス別	当期累計(24年4月-9月)			前期累計(23年4月-9月)	
	売上高(百万円)	構成比%	前期比%	売上高(百万円)	前期比% (参考)
IR・SRコンサルティング	1,368	72.5	20.4	1,136	▲ 1.1
ディスクロージャー コンサルティング	410	21.8	19.2	344	10.7
データベース・その他	108	5.8	▲ 0.2	108	6.1
合計	1,887	100.0	18.7	1,589	1.8

●IR・SRコンサルティング

IR・SRコンサルティングは、実質株主判明調査、議決権賛否シミュレーション、プロキシーアドバイザー(株主総会における総合的な戦略立案)等を中心とする当社の中核的サービスです。

●ディスクロージャーコンサルティング

ディスクロージャーコンサルティングは、ツールコンサルティング(アニュアルレポートや株主通信等、IR活動において必要とする各種情報開示資料の企画・作成支援)及びリーガルドキュメンテーションサービス(企業再編やM&A時における各種英文開示書類の作成や和文資料の英訳等)を提供するサービスです。

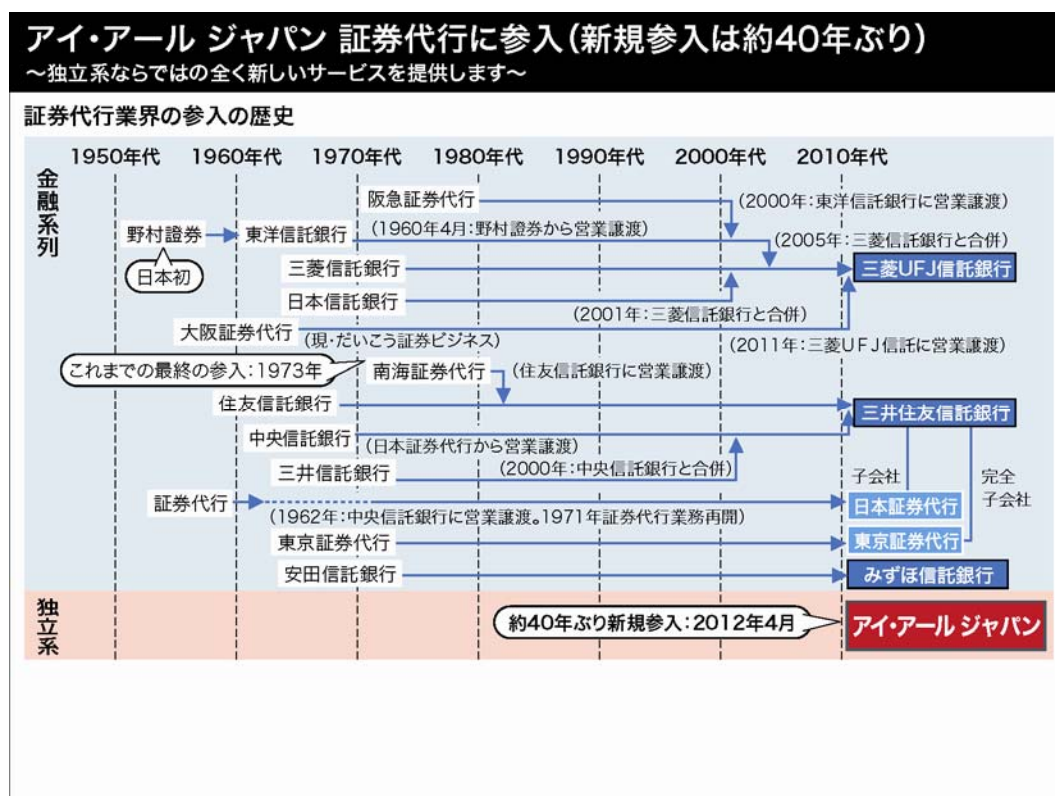
●データベース・その他

データベース・その他は、大量保有報告書や国内・海外公募投信における株式の組み入れ状況等を提供するIR活動総合サポートシステム「IR・Pro」、IR説明会への参加受付や参加者の管理等を上場企業が一括実施することが可能な「アナリストネットワーク」等をWEB上で提供するサービスです。また、個人株主向けアンケートサービス「株主ひろば」を展開しております。

③証券代行業業の開始

証券代行業業は、株式の発行会社に代わって、株主名簿管理人として会社の株式に関する事務(株主名簿の作成及び備置きその他)を行うサービスです。証券代行業業への新規参入は約40年ぶり(下図ご参照)のため、IR・SRコンサルティング業務のノウハウを活用し、既成概念にとらわれることのない全く新しい証券代行業業の提供を開始しました。

(証券代行業界の参入の歴史)



④季節的変動について

当社の四半期における売上高は、第1四半期、第2四半期に集中する傾向があります。これは、コア事業であるIR・SRコンサルティングが、企業の株主総会時期による影響を受けやすいという特性に起因するものであります。日本企業の多くは、3月決算を採用しており、6月に株主総会が開催されることが多いため、サービス提供時期が5～7月に集中する傾向があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ328百万円増加し、2,134百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加307百万円、売掛金の増加28百万円等によるものであります。

②負債

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ118百万円増加し、649百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加39百万円、未払法人税等の増加90百万円等によるものであります。

③純資産

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ210百万円増加し、1,485百万円となりました。主な要因は、当第2四半期累計期間の純利益計上287百万円等による利益剰余金の増加211百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

IR・SR活動に専門特化したコンサルティング業では、企業の不祥事や株主提案権の行使、さらには敵対的買収の動きなど、株主総会や資本構造の安定化に甚大な影響を与える案件が増加しつつあります。当社はこれら有事案件に関して最も経験あるコンサルタントとして、事実認識から戦略立案、そして大型の株主総会の運営そのものまでを包括的に引き受ける、お客様の手となり足となるコンサルティングサービスを提供しており、こうした有事案件の受託は今後も増加していくことが見込まれます。

一方、平成24年4月2日に開始した証券代行業は、新規受託獲得に向け全社一丸となって取り組んでおりますが、契約金額が受託先企業の株主数の規模により大きく異なるため、当期末の段階では、業績の見通しは立てにくい状況です。

以上を勘案し、当社の当期の見通しにつきましては、公表を控えさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる従来の方法と比べた場合の影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	897,736	1,205,387
売掛金	292,949	321,285
仕掛品	45,616	32,517
貯蔵品	2,583	2,237
その他	81,216	87,058
貸倒引当金	△849	△931
流動資産合計	1,319,253	1,647,554
固定資産		
有形固定資産	46,459	52,764
無形固定資産	247,915	244,329
投資その他の資産		
その他	200,355	198,096
貸倒引当金	△7,832	△7,832
投資その他の資産合計	192,522	190,263
固定資産合計	486,897	487,358
資産合計	1,806,151	2,134,912
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,372	93,736
未払法人税等	166,673	257,341
賞与引当金	73,353	66,830
役員賞与引当金	19,500	—
その他	137,837	149,354
流動負債合計	451,736	567,262
固定負債		
退職給付引当金	1,048	1,127
役員退職慰労引当金	71,534	80,832
その他	7,404	602
固定負債合計	79,987	82,562
負債合計	531,723	649,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	289,694	289,694
資本剰余金	278,496	278,496
利益剰余金	706,877	918,100
自己株式	△79	△79
株主資本合計	1,274,989	1,486,212
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△562	△1,124
評価・換算差額等合計	△562	△1,124
純資産合計	1,274,427	1,485,087
負債純資産合計	1,806,151	2,134,912

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,589,863	1,887,469
売上原価	558,937	704,446
売上総利益	1,030,926	1,183,022
販売費及び一般管理費	595,429	639,384
営業利益	435,496	543,637
営業外収益		
受取利息	405	352
為替差益	3,375	—
その他	72	234
営業外収益合計	3,853	586
営業外費用		
支払利息	1,108	683
為替差損	—	1,718
その他	39	30
営業外費用合計	1,147	2,433
経常利益	438,202	541,790
特別損失		
固定資産除却損	35	—
特別損失合計	35	—
税引前四半期純利益	438,167	541,790
法人税等	232,022	254,651
四半期純利益	206,144	287,139

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	438,167	541,790
減価償却費	16,475	17,755
のれん償却額	42,726	42,726
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,065	△6,523
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△19,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	51	79
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,464	9,297
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,865	82
有形固定資産除却損	35	—
為替差損益(△は益)	535	2,307
受取利息	△405	△352
支払利息	1,108	683
売上債権の増減額(△は増加)	△103,635	△28,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,587	13,445
仕入債務の増減額(△は減少)	36,780	30,438
未払金の増減額(△は減少)	△2,938	△1,608
未払費用の増減額(△は減少)	3,388	△4,481
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,714	7,957
前受金の増減額(△は減少)	25,684	8,474
その他	11,667	△5,693
小計	497,166	608,541
利息及び配当金の受取額	255	762
利息の支払額	△1,005	△683
法人税等の支払額	△152,518	△160,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,898	448,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△200,000	△150,000
有形固定資産の取得による支出	△9,966	△12,706
無形固定資産の取得による支出	△41,938	△42,068
敷金及び保証金の差入による支出	—	△840
敷金及び保証金の回収による収入	43,980	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,925	△205,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	—
リース債務の返済による支出	△7,679	△7,903
配当金の支払額	△49,940	△75,696
自己株式の取得による支出	△69	—
株式の発行による支出	△1,953	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,642	△83,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△500	△2,282
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74,170	157,071
現金及び現金同等物の期首残高	625,606	413,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	551,435	570,387

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。